



吟剣詩舞道を学ぶことにより、礼儀作法などが楽しみながら自然に身に付くと思います。漢詩・古典を吟詠に合わせて舞います。詩文を学び、扇を扱うことにより、全身を使って行う動作です。古き日本の伝統を知ることができます。心の表現のできる感性の芸実であると思います。現在、リハビリとしている方、外国の方ともに楽しく学んでおります。

澗和流詩舞道会会長宗家、詩舞道、剣舞、居合、詩吟、日本舞踊、末茶道、煎茶道、華道の指導可能です。

土浦市文化協会50周年記念事業、「桜の記憶」をクラフトシビックホール土浦大ホールで鑑賞してきました。



戦前、戦中、戦後を、桜の花を通して土浦で起こった出来事を物語として綴られたものです。敷島の やまと心を 人とはば 朝日に匂う 山さくら花 「本居宣長」の和歌で始まり、天災や悲惨な戦争最中の喜怒哀楽を交えながら時代が

伝えられ、感動の作品でした。

5月7日(日)横浜市鶴見区公民館堂ホールにて歌謡吟詠・歌謡舞踊・花乃舞・第三回公演がありました。吟と舞がセットで構成された番組です。郭心さんと心雅さん、心雅さんのお友達が観に来てくださいました。天気予報では夜半より雨の情報でお客様の入りも程々でした。中華街で昼食をとり、私には崎陽軒のシューマイを元気づけにと買って来てくれました。峰章山先生は先代の佐々木澗戈先生の頃からのお付き合いで、お世話になっております。(全国を翔ける峰章山先生は、残った短い人生を、皆様と共に、大切に食欲に生きています)と語っておいりました。写真は岡村心先生の作品である『蝉時雨』漢詩入りで武島鳳先生の歌謡吟詠で舞いました。

